★公明党

Vol.9 平成28年1月

たけのうち通信

Takenouchi News

発行責任者:たけのうち猛

〒236-0052 横浜市金沢区富岡西3-38-1-101 TEL:080-9804-9782 FAX:045-345-4345

E-mail:info@takenouchi-takeshi.com





昭和49年生まれ。大分県出身。41歳。横浜市金沢区在住。妻と2女の4人家族。平成9年、創価大学法学部卒業。平成15年、米国・ワイオミング大学大学院公共政策学修士課程修了。大手物流会社を経て、平成27年4月、横浜市会議員に初当選(金沢区)。現在、公明党神奈川県本部青年局次長、学生局次長、金沢支部支部長。

「横浜市会第4回定例会」一般質問特集

12月9日の本会議にて、公明党横浜市会議員団を代表して、自身初めての一般質問に立たせて頂きました。皆さまから伺ってきた地元・金沢区の地域課題から、高齢者福祉、子育て・若者支援など、8項目32問に渡り林市長および岡田教育長へ質問を行いました。以下抜粋してご報告します。

市会ホームページのインターネット中継もご覧ください

今回の質問の詳細は、市会ホームページのインターネット中継でもご覧になれます。 【URL】 http://gikaichukei.city.yokohama.lg.jp





▲ 12月9日の本会議にて

● 金沢区・地元課題

▶海の観光資源の活用を

南部市場跡地の再整備を契機として、周辺のベイサイドマリーナや、八景島など観光・集客施設同士の連携を図り、臨海部の周遊を促すことで、「横浜の海の観光資源」としての更なる活性化を図るよう提案。市長より事業者の皆さまと連携し、情報発信や旅行商品造成など、効果的な取組を進めるという答弁がありました。

▶地域猫活動

活動への一般の理解の促進へ、さらなる周知を図ること、猫の不妊去勢費用の助成の継続などを訴えました。市長からは、ボランティアの皆さまに敬意を表しますと。また、皆さまが活動しやすいような環境整備を継続していくとの答弁がありました。

▶ゴミ屋敷問題

問題解決の前進へ、条例化の必要性を改めて要望。

● 市長答弁 「来年度中の条例案提出、施行を目指す。」

፟ 島齢者福祉

▶認知症への対応

認知症への一般の正しい理解を広げていくため、認知症サポーターのさらなる拡大とともに、効果的な予防のため、本人や家族が認知症に早く気が付くための取組を充実させるよう要望。市長から認知症の理解者を増やすことから一歩進んで、支援に関われるようなサポーターの養成に取り組みたい旨の答弁がありました。

▶近居・同居支援

介護や子育てなどを助け合いながら、安心して暮らすためにも、多世代の家族が近居・同居しやすくなるような支援・施策を充実させるよう要望。市長より子育てしやすい環境の形成、女性の就労支援にもつながる大変重要なものであり、多角的な視点から施策を展開していく旨の答弁がありました。

● 防災・減災

▶自助・共助の意識向上へ

▶防災倉庫の設置基準の緩和を

危機管理アンケートの結果を踏まえて、特に減災において重要な、自助・共助のさらなる意識啓発を要望。市長より防災・減災の先進的な事例集を作り、全ての自治会などで共有していくことなど答弁がありました。

፟ 學 学校教育と若者支援

▶夜間中学、フリースクール、就労支援

国の通達を踏まえて、夜間中学の再入学について、しっかりと周知していくこと。不登校児童生徒の増加傾向を踏まえて、フリースクール等の多様な学びの場を公的に位置づけて支援していくこと。引きこもりなどで、支援につながっていない若者を、行政の側から積極的に把握して、支援につなげるきめ細やかな取組を行うことなどを要望。市長、教育長より若者が社会に踏み出す第一歩を地域で支える取組を、さらに推進していく旨の答弁がありました。

▶小児医療費助成制度の更なる拡充を

公明党の提案で、昨年10月に小学校3年生まで拡充された助成を、引き続き、早期に中学校3年生まで、所得制限なしで拡充できるよう取組むことを要望。市長より「助成制度の拡充に向けた環境整備が進むよう、引き続き国や県に強く要望する」との答弁がありました。

▶中学校昼食「ハマ弁」の全校実施へ

来年度中に全市立中学校で展開される配達弁当の名称が「ハマ弁」に決定!他都市の事例を参考にしながら、親子試食会の開催など、皆に親しまれるものとなるよう要望。

♥ 物流機能とまちづくり

国際港湾都市・横浜のプレゼンスを高め、経済の活性化を図るためには物流機能の強化が必要であり、港湾・道路・物流施設の一体的な整備を図ることが重要であることを訴えました。



曼 国際平和の実現と核兵器廃絶

政令指定都市として初めての「国際局」の新設を機に、横浜がさらに積極的に平和外交を進め、現代の脅威である核兵器問題に取り組んでいくべきであると主張。

● 市長答弁

「ピースメッセンジャー都市として、国際交流や国際協力で、核兵器のない世界の実現に向けた取り組みを行う」

♥ 横浜芸術アクション事業

ダンス、音楽、トリエンナーレの横浜の文化芸術フェスティバルを、より横浜らしい特色のあるものにしながら、継続していくことを訴えました。

余録 支持者の皆さまに感謝!



当日は寒風の中、多くの地元の 支持者の方も傍聴に駆けつけて下 さり、熱い応援を頂きました。

余りに温かい真心に感激です! 心より感謝申し上げます。

輝く金沢へ 動きます! 働きます!

「たけのうち猛」は、「暮らしやすい街」「人が集いあう街」「安心・安全な街」の3つの基本政策を掲げ、 金沢の皆さまが輝く街にするため、動き、働いていく決意です。

暮らしやすい街へ

金沢区は、都心から近く、自然豊かな環境です。地域的条件を活かし、地域密着型の雇用支援体制を充実させ、若者から女性や経験豊富なシニアの方まで、元気に働ける街にします。

寄り添う医療から総合医療までを更に機能的に。待機児童0を目指す取り組みなど、子育てしやすい環境の整備。地域包括(介護)ケアシステムを構築します。

豊かな自然を大切にし、身近で充実した都市機能を融合させ、暮らしやすい街をつくります。



人が集いあう街へ

金沢区は、古より景観豊かな歴史を誇ります。金沢文庫をはじめ、海の公園、金沢動物園、八景島など、観光やショッピングを楽しむことができる街です。

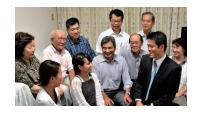
この豊かな金沢力を、より魅力的に、より機能的にしながら、観光資源という金沢力を広く発信し、 人々が集いあって、そして持続的な経済発展をはかり、元気なあかるい魅力的な街をつくります。



安心・安全の街へ

駅や公共施設などのバリアフリー化の推進をはじめ、公共交通機関の充実など、子供から高齢者まで、あらゆる世代の皆さまが安心して暮らせる街をつくります。

多様化する都市型災害に備える防災・減災機能を充実させ、地域コミュニティの活性化、「自助」・「共助」の意識啓発を推進し、安心して、安全に暮らせる街をつくります。



皆さまの声を お聞かせ下さい FAX:045-345-4345

たけのうち猛 オフィシャルサイト takenouchi-takeshi.com



メルマガ登録は こちらから!



空メールを 送信してください

事務所:富岡西3-38-1-101 E-mail:info@takenouchi-takeshi.com